

WilComm

WilCommAS Ver.8.03 + WilCommPC Ver.4

Training Manual Lesson-1 ウィルコム概要

Manual No - MTRN041 (Last Update 2007/07/06)



本書は、ウィルコムを WilCommAS Ver.8.03 + WilCommPC Ver.4 で初めてお使いになるシステム管理者向けトレーニング・マニュアルです。

Lesson-1 では、iSeries 及び PC サーバーにおけるウィルコムのソフトウェア環境について解説しています。

(目的)

1. iSeries 側ウィルコムのソフトウェア環境を理解する。
2. PC サーバー側ウィルコムのソフトウェア環境を理解する。
3. ウィルコムの制限事項を理解する。

(目次)

1. ウィルコムのソフトウェア概要.....	3
2. ウィルコムのライセンスについて.....	6
3. iSeries のウィルコム環境	7
4. PC サーバーのウィルコム環境.....	9
5. スプールファイルの制限事項.....	13

[1. ウィルコムソフトウェア概要]

ウィルコムは、iSeries のスプールデータを使用し、FAX / Email / Print / Filing を行う統合配信ツールです。ソフトウェア構成は、iSeries 側ソフトウェアと PC サーバー側ソフトウェアにより構成されます。

(iSeries 側ソフトウェアの役割)

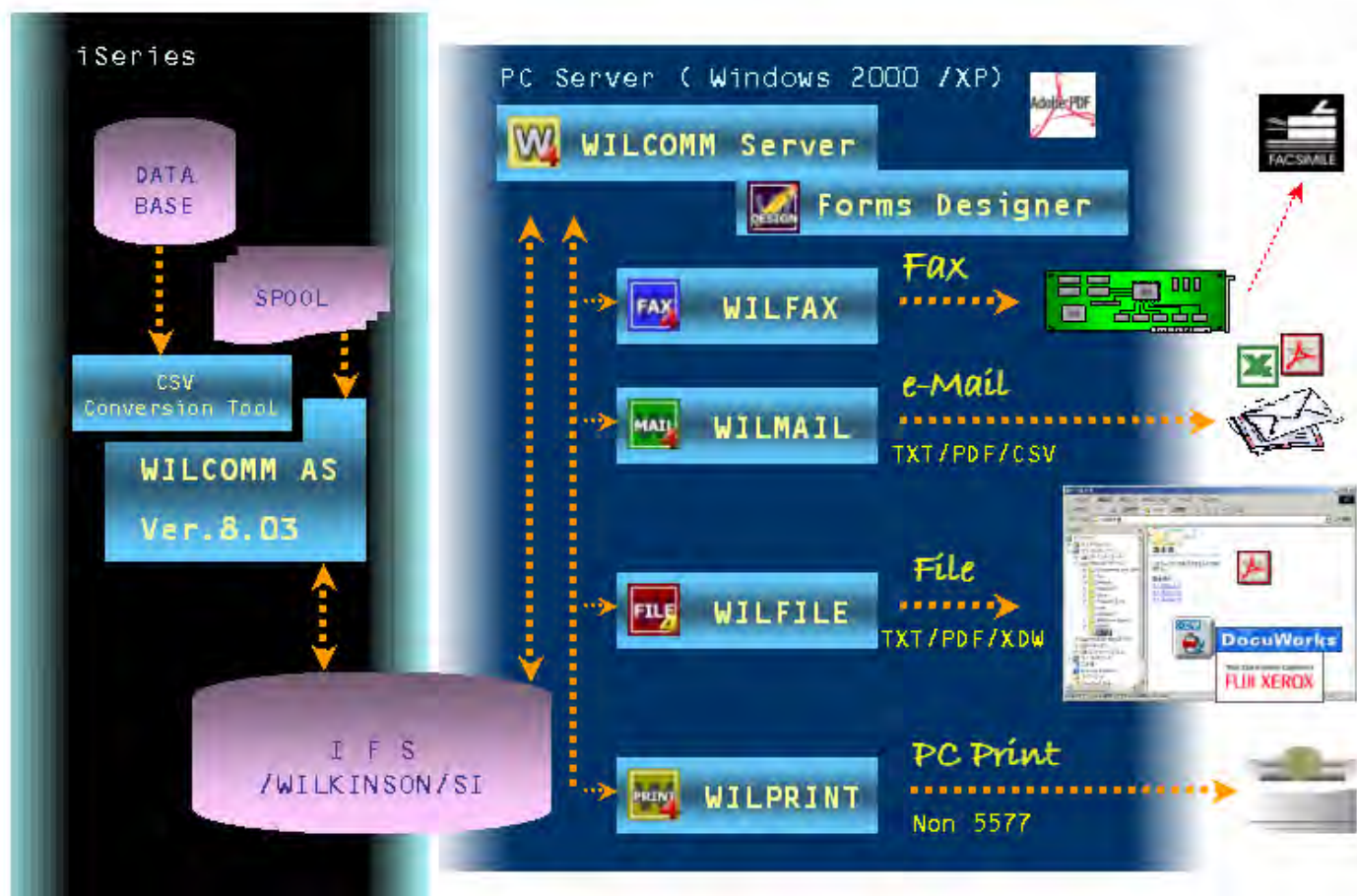
iSeries のスプールデータの EBCDIC→ASCII 変換を行い、PC サーバーにデータを渡します。

PC サーバー側での配信結果を受け取り、配信結果管理を行います。

(PC サーバー側ソフトウェアの役割)

iSeries から受け取ったスプールデータを実際に配信します。(FAX / Email / Print / Filing)

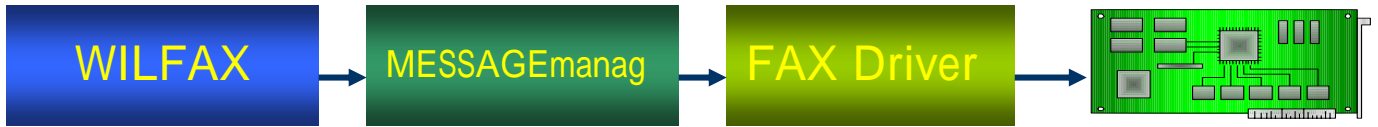
配信結果を iSeries に返します。





【WILFAX : ウィルファックス】

ファックス配信を行うモジュールです。



ウィルファックスをご契約いただいている場合、PC サーバーには Intel 社 Gammalink 或いは Brooktrout 社のファックスカードが装着されています。

従って、FAX Driver は装着されているファックスカードにより各社のドライバーがインストールされています。



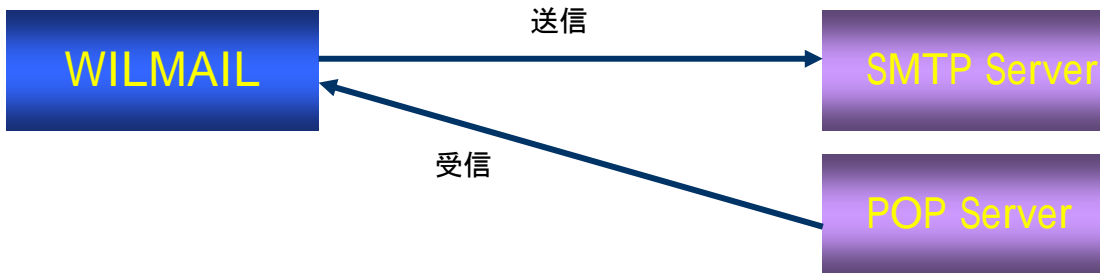
MESSAGEmanager は FAX の制御ソフトウェアです。実際にダイヤル配信を行い、通信状況を監視するソフトウェアです。ウィルファックスは、配信データを MESSAGEmanager に転送して、実際の配信結果を MESSAGEmanager から受け取り、更に iSeries にその結果を転送します。

(注意)ファックスカードが故障した場合は、各メーカーとも現品交換となりますので、梱包されておりました箱は保管願います。



【WILMAIL : ウィルメール】

メール配信を行うモジュールです。



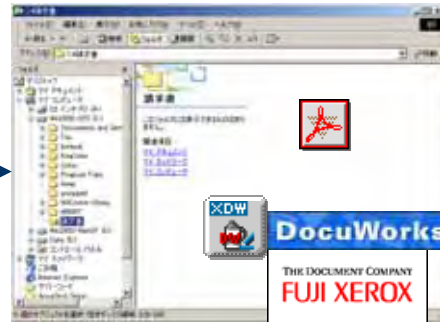
ウィルメールは、メール・クライアントソフトウェアです。

SMTP サーバー情報、POP サーバー情報はウィルメールに設定されています。ウィルメールが認識できるメール配信時に発生するエラーは、各メールサーバーとのセッション確立中に発生したものに限られます。例えば、送信時にウィルメールからメールが SMTP サーバーに受け渡された後に、SMTP サーバーと相手先メールサーバーとの間で発生したエラーは、インターネット・メールの仕組上、ウィルメールでは監視することができません。その場合のエラーは、メールの差出人に対してリターン・メールで通知されます。従いまして、ウィルメールで配信を行う場合は、差出人をどう設定するかが重要になってきます。



【WILFILE : ウィルファイル】

ファイル保管を行うモジュールです。



TEXT 形式(TXT)、Adobe Acrobat 形式(PDF)、XEROX DocuWorks 形式(XDW) で保管することができます。

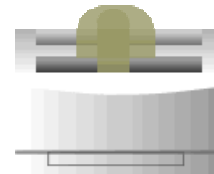
Adobe Acrobat 形式(PDF)で保管を行うためには、WilComm のライターで生成するか、PC サーバーに Acrobat Distiller をインストールする必要があります。

XEROX DocuWorks 形式(XDW)保管を行うためには、PC サーバーに DocuWorks Printer がインストールされている必要があります。



【WILPRINT : ウィルプリント】

印刷を行うモジュールです。



印刷対象となるプリンタは、PC サーバーにインストールされている全ての PC プリンタです。

プリンター・メーカーに依存せず、5577 エミュレーションも必要ありません。

(注意) iSeries 専用プリンタと PC プリンタでは、印刷データ量に大きな格差があります。iSeries 専用プリンタの印刷データは、ほぼテキスト・データに近いトラフィック量ですが、PC プリンタの印刷データはイメージデータである場合もあり、ネットワークへの負荷を考慮する必要があります。特にリモート先への印刷を計画する場合は、回線スピードを考慮に入れた検討が求められます。

[2. ウィルコムのリソースについて]

ウィルコムの iSeries 側及び PC サーバー側ソフトウェアは、ライセンスキーによって、動作が制限されています。ご契約いただきました機能 (FAX / Email / Print / Filing) によってライセンスキーが設定されています。

(iSeries ライセンスキー) : 英数字 20 桁

(PC サーバー ライセンスキー) : 英数字 96 桁

ライセンスキーの満了日は iSeries、PC サーバー共に同じ設定になっております。

ご購入いただきました際に、ウィルコムの「ソフトウェア使用許諾および使用権継続・保守契約」を締結させて頂いておりますが、当契約は毎年更新となります。

ウィルコムのソフトウェア・ライセンスキーも、その更新の都度、年間キーとして発行されることとなります。

更新時期が近づきましたら、更新手続きに関するご案内をさせていただき、書面手続きが完了しましたら新たなソフトウェア・ライセンスキーをお知らせいたします。

ソフトウェア・ライセンスキーは、マニュアル「ライセンスキー更新手順」に従いまして、お客様にて更新処理を行っていただきます。

[3. iSeries のウィルコム環境]

【iSeries のウィルコム・ライブラリー】

<LIB>

WILCOMM	ウィルコム・プログラム・ライブラリー メインプログラム、一部データベース、データエリア、記述等を含む
WILCOMMDD	ウィルコム・データ・ライブラー メインデータベース、データエリアを含む
WILCOMMCHG	ウィルコム・データ及びプログラム・ライブラリー 配信トランザクション・データ、データエリア、一部プログラムを含む
WILCOMMNU	ウィルコム・メニュー・ライブラリー ウィルコム・メニュー・オブジェクト、メッセージファイルを含む
WILCOMMCSV	CSV コンバージョンツール・ライブラリー (オプション) CSV コンバージョンツールの全オブジェクトを含む オプションの「CSV コンバージョンツール」をご契約頂いている場合。
WILQxxxx	ウィルコム・言語コントロール・ライブラリー 言語環境を制御するデータベース、コマンド等を含む 日本語環境でお使いの場合は、WILQ2938(英語)及びWILQ2962(日本語)の2つが存在します。 ご使用の言語環境によっては「WILQ」以降の が異なるライブラリーが存在します。
WILCOMMZZZ	ウィルコム・デモンストレーション・ライブラリー ウィルコム・デモンストレーション用オブジェクトを含む

【AS のシステムライブラリに作成されるオブジェクト】

- QSYS/WILCOMM (*USRPRF)
- QSYS/WILCOMM (*MENU)
- QSYS/W (*MENU)
- QGPL/WPXTXTDY (*FILE)
- QUSRSYS/WILCOMM (*MSGQ)
- QUSRSYS/WILCMS (*DATARA)
- QUSRSYS/WILCOMLIVE (*DTAARA)

QUSRSYS に作られる 2 つの (*DTAARA) は WILCOMM システム内部で使用されています。

QGPL に作られる (*FILE) WPXTXTDY は WILCOMM 登録ユーザ以外のテンポラリユーザが処理したメッセージが格納されます。

ウィルコム関連のオブジェクトに対する変更は一切行わないようにしてください。

【ウィルコムバックアップ】

- QSYS/WILCOMM (*USRPRF)
- ~ のウィルコム・ライブラリ ()
- QGPL/WPXTXTDY ()

iSeries 側ウィルコムを停止した状態でバックアップを実施してください。

※ 日次バックアップ対象

QGPL/WPXTXTDY は存在しない場合もあります。

【ウィルコム・データ容量の考慮】

ウィルコムは配信したスプールデータをデータベースに変換して保持します。配信結果と共にウィルコム・ライブラリー内の複数データベースで管理されます。オペレータは、そのデータを照会して再送信指示をしたりすることが出来るようになっています。

このデータベースは、配信処理を実施したユーザープロファイル単位に決められた日数の間、保管されます。

ウィルコムは、起動時及び連続運転を行っている場合は毎日午前0時に、不要データを削除する「ページ処理」が自動的に起動します。

このページ処理は、各ユーザープロファイルによって定められた保管日数をチェックして、保管日数を超えた過去のデータを削除します。

ウィルコム・ライブラリーの容量は、お客様の使用状況や上記保管日数によって大きく異なってきます。使用状況や社内ルールを勘案し、マニュアル「ページ(不要データ削除)設定」に従い、適切な削除計画を実行してください。

[4. PC サーバーのウィルコム環境]

【PC サーバー のウィルコム・フォルダ】

ウィルコムの全モジュール及びデータベース

C:¥Program Files¥Wilkinson

MESSAGEmanager (FAX ご利用の場合)

C:¥Program Files¥System Solutions

Intel 社 Gammalink FAX Card Driver (FAX をお使いで FAX カードに Gammalink をお使いの場合)

C:¥Fax

Brooktrout 社 FAX Card Driver (FAX をお使いで FAX カードに Brooktrout をお使いの場合)

C:¥WINNT¥BTFax (TruFax , TR114 の場合)

C:¥Brooktrout (TR1034 の場合)

*ドライブ名は、お客様の環境で読み替えてください。

【ウィルコム・フォルダのバックアップ】

Windows System を含めたシステムのフルバックアップを日次で行うことが最も安全です。

システムのフルバックアップを行っていない状況下で、PC サーバーにおけるデータ破損を含めた最悪の事態が発生した場合でも、①(注)のみをバックアップしておけば、復元が可能です。

最悪の事態が発生した場合、①～④は全てインストール CD からの再インストールを実施します。①のバックアップから、設定情報やオーバーレイフォームを復元することになります。

(注)ウィルコム・フォルダ内の設定情報は次頁のタイミングで変わります。そのタイミングで①をバックアップしてください。バックアップは、①を CDROM 等の外部媒体にフルコピーしていただくことでも結構ですが、ウィルコム・スナップショット機能を使用することも可能です。(ウィルコム・スナップショットにつきましては、P11 を参照)

【バックアップの必要なファイルとフォルダ】

①システム設定ファイル(ピックアップグループ、メールユーザー等)(Wilcomm Config 設定追加・変更時)

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥Application Data¥MSDEDatabase¥WilComm_Data.MDF

②フィールドマップ情報(フォルダ内全て) (Field Mapper にて追加・変更・削除時)

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥WilForm¥FieldMap Files

③フォーム(フォルダ内全て) (Forms Designer にて追加・変更・削除時)

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥WilForm¥Forms

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥WilForm¥DynamicImages

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥WilForm¥DynamicText

④サンプルスプールファイル(フォルダ内全て) (サンプル追加・変更・削除の場合)

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥WilForm¥Sample Spool Files

⑤WilComm Server / WilFax / WilMail / WilPrint / WilFile 設定ファイル(設定変更時)

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥Application Data¥WilComm.ini

⑥Distribution Wizard ファイル (Distribution Wizard の設定追加・変更時)

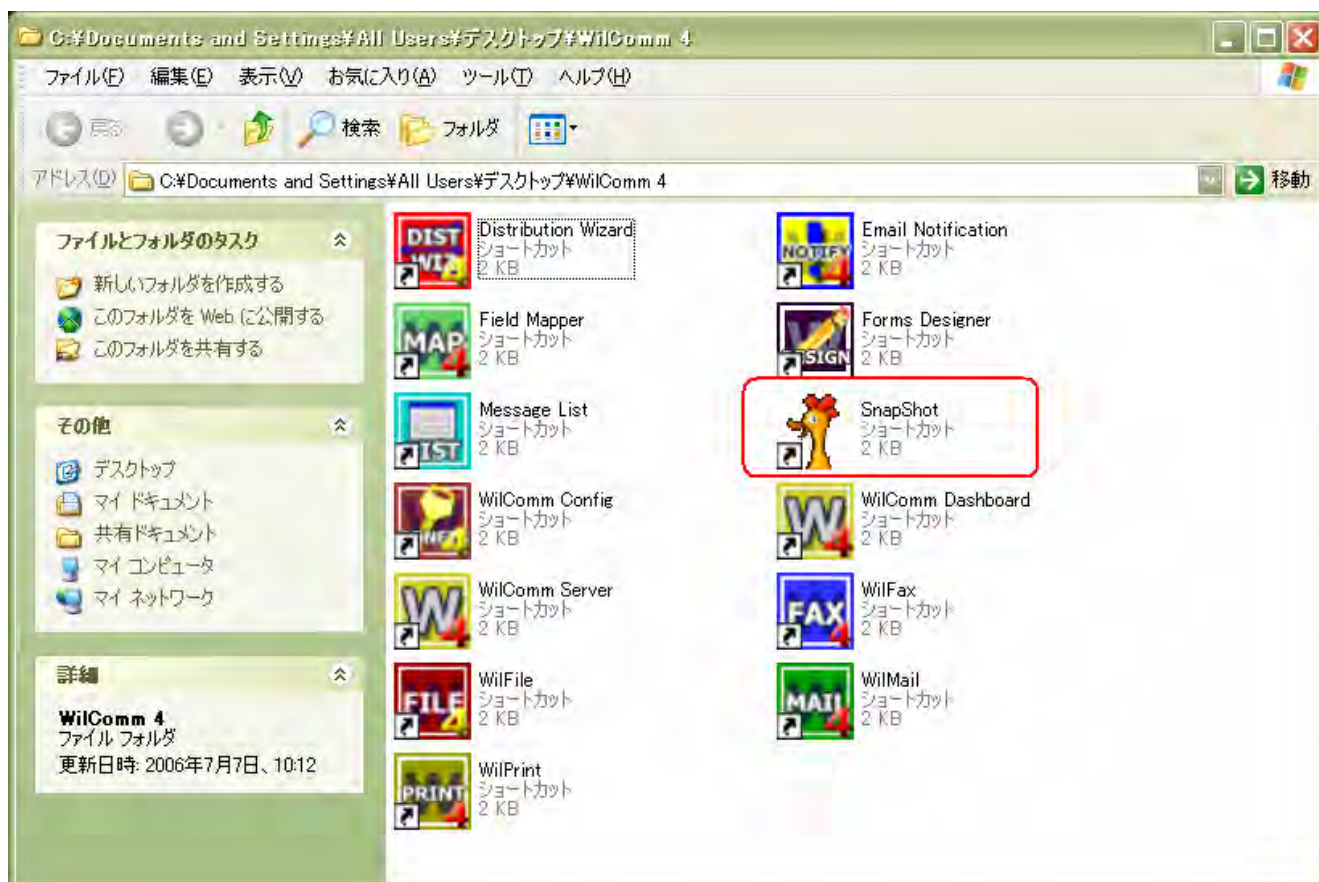
C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥Application Data¥DistributionWizard.txt

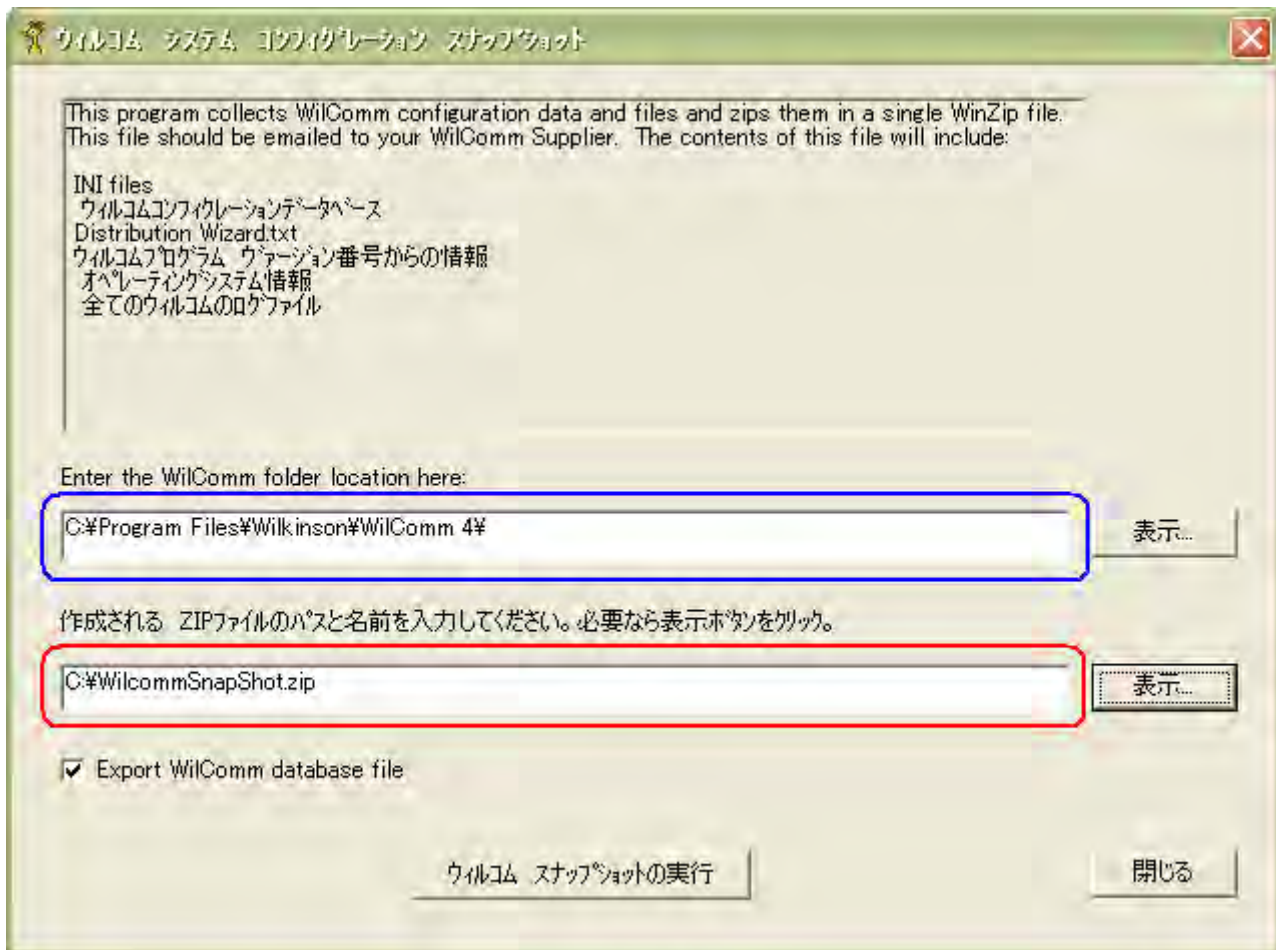
*ドライブ名は、お客様の環境で読み替えてください。

【ウィルコム・スナップショット】

ウィルコム・スナップショット機能により、簡単に PC サイドのウィルコムをバックアップすることが可能です。
デスクトップにあります「WilComm4」フォルダを開いて、「SnapShot」アイコンをダブルクリックしてください。

(***PC サイドのウィルコムを停止した状態で行ってください。)





青枠部分

現在ウイルコムがインストールされているフォルダ・パスを指定します。

赤枠部分

スナップショットの実行により、ウイルコムのすべての設定情報が、「ZIP」ファイルに保管されます。その「ZIP」ファイルの保管先パスを指定します。

最下部にあります「**ウイルコム・スナップショットの実行**」ボタンを押します。

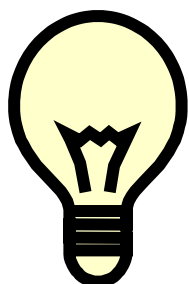
終了しましたら、「閉じる」ボタンで終了します。

世代管理等を含んだ、バックアップ計画を立案してください。

[5. スプールファイルの制限事項]

ウィルコムで使用可能な iSeries のスプールファイルには以下の制限があります。ウィルコムによる配信を検討しているスプールファイルが、以下の問題を含んでいる場合はアプリケーション・プログラム或いは、プリンタファイルを改訂してください。

- ① APW のスプールファイルは使用できません。
マージする以前のスプールファイルを使用するようにしてください。
- ② スプールファイル属性の「印刷装置タイプ」= *SCS 以外のスプールファイルは使用できません。
AFP 等は使用できません。
- ③ プリンタファイル DDS において、以下のキーワードを使用しているスプールファイルは使用できません。
UNDERLINE / CHRISZ / HIGHLIGHT 等、iSeries 専用プリンタ用のキーワード
該当キーワードを除去してください。
*ウィルコムはスプールファイルを EBCDIC→ASCII 変換を行う際に、iSeries コマンド (GPYSPLF) を使用しますが、当コマンドは、上記キーワードを含んだスプールファイルのコピーに対応していません。
- ④ TOOL BOX を使用した罫線を使用しているスプールファイルは使用できません。
③ と同じ理由により使用できません。罫線定義を除去してください。
- ⑤ 「重ね印刷」をしているスプールファイルには使用できないものがあります。
「重ね印刷」とは、アプリケーション・プログラムがスプールデータの出力時に、同一行で2回以上の出力を行っていることを意味します。
「重ね印刷」をしているか否かは、該当スプールファイルを WRKSPLF コマンドで画面表示した際に、画面24行目にその旨を伝えるメッセージが表示されるか否かで判断できます。
大抵の「重ね印刷」はウィルコムで処理可能ですが、ウィルコムはスプールをデータとして取り扱いますので、重ね出力の結果、シフトコードの整合性が崩れてしまうような「重ね印刷」は予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。



【ヒント】

ウィルコムは、iSeries 上のスプールファイル1ページに、オーバーレイフォーム1ページを対応させます。

オーバーレイフォームに、より多くの情報をマッピングしたい場合、一般的な 132/198 桁 66 行のプリンタファイルでは不足な場合があるかも知れません。ウィルコムが扱うことのできるスプールファイルは、ページサイズの桁数と行数に関しては制限がありません。従って、オーバーレイフォームに、より多くの情報をマッピングするには、プリンタファイルの桁数・行数を増やすことで可能です。

MEMOREX SUPPORT

MEMOREX サポートサイト:



<http://as.memorex.co.jp/support/agreement/wilsupport.html>

- ※ ユーザ名、パスワードは SE サポート契約書 No. です。
- ※ 全桁半角大文字

お問合せ先:

MEMOREX AN サポートセンター

[サポート時間帯]

月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝祭日年末年始は除く)

- ※ 緊急のトラブル以外は、メールでお願いしております。
- ※ メールは 24 時間受け付けております。

E - m a i l : an_support@kel.co.jp

TEL/FAX : 03-5777-2533